



おもい、おもわれ、おもてなし。



敦賀商工会議所会報

【発行】〒914-0063 福井県敦賀市神楽町2丁目1番4号 TEL 0770-22-2611 FAX 0770-24-1311 <http://www.tsuruga.or.jp> メール tcci_kaiin@tsuruga.or.jp
【編集】敦賀商工会議所 【定価】1部100円 【印刷】有限会社 創広 【発行日】2023年1月1日

2023
新春号

No.670



写真提供：鉄道・運輸機構

新年のご挨拶



会頭
奥井 隆
(株)奥井海生堂

チーム敦賀で、 新たな交流から変革へ

新年あけましておめでとうございます。令和五年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年十一月より、敦賀商工会議所の会頭ならびに、一般社団法人福井県商工会議所連合会の副会頭に選任され、こうして初めての新年を迎えることができました。初代会頭の、大和田莊七翁から十四代目の会頭となりますが、これまでの歴代会頭が積み重ねられてきた素晴らしい業績を礎に、会員の皆様との結束を強め、行政をはじめ関係団体、諸機関との緊密な連携のもと、地域活性化に向けて取り組んでまいり所存で御座います。

さて、国内経済の競争力が低下するなか、長引くコロナ禍やロシアのウクライナ侵襲、世界的なインフレを背景とする物価高騰など、大きな環境変化が次々に押し寄せ、予測困難な状況となっています。また市内においては、原子力を取り巻く諸情勢には、改善の兆しも見られ、また、一〇〇年に一度の地域活性化のチャンスと言われる北陸新幹線敦賀開業が目前となり、意識も向上しつつあります。

こうした状況を踏まえ、敦賀商工会議所は本年、特に次の三点について重点的な取り組みを実行してまいります。

第一は「原子力立地地域としての積極的なアクション」です。原子力発電所の早期再稼働、

新増設・リブレースに関する推進活動を一層強めるとともに、廃炉ビジネスの具現化、もんじゅサイトでの新たな試験研究炉に関する提案など、市内への経済波及をしっかりと見出し、していきたいと存じます。

第二は「北陸新幹線敦賀開業の受け皿づくりによる観光の産業化」です。駅西地区「otta」がオープンするなど、市内の景色も目に見えて変わってまいりましたが、「目的地」としての魅力はまだ不足しております。このため、従来から進めている商品づくりやおもてなし強化などのソフト事業に加えて、金ヶ崎周辺の整備や市内店舗のリノベーション支援などのハード整備を進め、民間の挑戦を活性化する活動を展開してまいります。

第三は「交通・物流の要衝として敦賀の強みを発揮する取り組み」です。ご存知の通り、敦賀は古来より港があることで、交通の要衝を強みとして発展してきた街であります。北前船や人道の港の歴史を活かした交流活動といったソフト事業や、敦賀港整備拡張・機能向上による貨物船やクルーズ客船等の利用拡大を目指す促進活動を展開します。また陸路については、敦賀―高島連絡道路整備実現に向けて、高島との経済交流等により機運醸成を図って参りたいと存じます。

以上の重点活動を着実に進め、経済効果に結実させるためには、商工会議所も率先して変革していかなければなりません。このため、商工会議所に課題別の委員会を新設するとともに、DXやSDGsへの対応、制度改正、事業承継等々、多様な対応を求められる会員企業への経営支援活動を強化するなど会議所機能を強化する一方、関係機関との連携強化を進め、地域ぐるみの「チーム敦賀」を形成しながら、「新たな交流から変革へ」と、敦賀商工会議所は地域をリードしてまいります。

最後に、今年一年が、皆様にとって輝かしい年になりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。